

学校だより

# 潮風

令和4年度  
第13号  
令和5年  
3月24日

教育目標 「伸びる喜びを見つけよう」

学ぶよろこび (知) 助け合うよろこび (徳) やりぬくよろこび (体)



岩内町立岩内西小学校 TEL 62-0263

<http://www.town.iwanai.hokkaido.jp/nishisyo/>

## 新たな春 感謝の気持ち 携えて



岩内西小学校長 古館 昭仁

柔らかな陽差しが日ごとにその輝きを増し、新しい春の訪れが感じられる季節となりました。令和4年度の教育活動が本日で修了となります。この1年間、保護者・地域の皆様には、本校の教育活動に対しいつも温かく見守り、ご理解ご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。

さて、今年度を改めて振り返りますと、子供たちのよいところがさらに伸びた1年間だったように感じております。その中から、特に次の2点についてご紹介します。

まず、20日に第46回卒業証書授与式を無事に挙行することができました。心身共に大きく立派に成長し、自信に満ちあふれた6年生の姿に大変感激いたしました。思えばこの3年間コロナ禍の影響で教育活動にも様々な制限がある中、「どうすればできるようになるのか」を常に考えながら教職員も児童も工夫しながら学校生活を充実させて参りました。本校の子供たちは「西小そろえる活動」を日々意識しながら生活しています。どの学年・学級も安心して授業を受け、ルールを守り、周りの人に温かく優しい気持ちで接しながら、落ち着いた学校生活を過ごすことができていると感じております。

次に、先日、本校でボランティアを行っていただいている方をお招きし、1年間のお礼として「感謝集会」を開きました。学校を代表して1年生が学芸会で披露した「かわいらしいダンス」と「手作りメダル」をプレゼントしました。日々の登下校の見守りや月2回の読み聞かせなどボランティアの方々には、本校児童に対する温かな眼差しと想いがあふれる活動により、安心して登下校することができ、また、本の世界の新たな発見につながっています。地域の方とお話しておりますと、児童のよさとして「自分から挨拶すること」「いつも元気で男女とも仲が良いこと」「素直で優しい子が多いこと」等をお話しくださいます。子供たちのよいところを聞くと私も教職員もうれしくなると同時に「その通りだな」と思います。「社会に開かれた教育課程」と言われますように、地域にある学校として、地域にある教育力を助けとすることで、子供たちをさらに伸ばすことができます。そのように、地域・保護者・教職員のベクトルを一つに合わせ、よりよい学校教育をさらに進めていくことが重要であると考えます。



岩内町は今後、令和8年4月開校予定の岩内町義務教育学校に向け、今いる子供たちにどのような力を付けていくことが大切なのかを考え、日々の学校教育で進めていくこととなります。本校も、9年間の義務教育を見通した視点を明確にし、将来この地域を担うであろう子供たちの姿が、いかにあるべきかを関係者の皆様と共有して取り組んでいくことが重要です。本校から進学する2つの中学校や3年後に同じ学校となる東小学校と「今から共通して進めることは何だろうか？」を常に意識して学校教育を進める必要があります。次年度は「小中学校でそろえる活動を推進するためには？」「地域にある教育力を生かしふるさとを愛する子供たちを育てるためには？」等、何が重要かつ必要であるかを十分に考え、町内4つの学校の連携をさらに進めます。次年度も引き続き、保護者・地域の皆様の温かなご理解とご協力を賜り、教育活動を進めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。